



**世界が注目する
イベントが目白押し**
さいたまスーパーアリーナ

37,000人まで収容可能なビッグ施設。交通の利便性もあり、年間約250万人が訪れます。ビッグアーティストのライブから、国際級のスポーツイベント、見本市まで。客席可動ブロックを採用。可能性は無限大です。

北浦和駅西口から所沢インターチェンジ付近まで約17km。県の木ケヤキが2,417本植えられた並木は日本一の長さです。「新・日本街路樹100景」にも選ばれました。



全長17km、日本一の長さ
埼大通りケヤキ並木

©STIB

自慢 & さいたま

さまざまな「さいたま市」の人、モノ、まち。でも、まだ
伝統や本物を大切にしながら、グロー



**鉄道ファンが憧れる
「鉄道のまち」に建つ**
鉄道博物館

平成24年4月に入館者数が500万人を達成。全国から鉄道ファンが詰め掛けます。人気のジオラマは約200㎡の地形模型で迫力満点。鉄道をテーマとしたHOゲージでは日本最大級です。軌道総延長約1,400mの上を最大20編成までの車両が走ることができます。

ユニークな3大特産品
さいたま市農産品



さいたま市が一大生産地の「くわい」。レストランで高い評価の「チコリー」。発見から100年以上も生き続けている希少な品種のさつまいも「紅赤」。この3品は自慢の農産品。市内の学校給食のメニューに登場したり、焼酎やスイーツに加工されたり、さまざまな食のシーンに登場しています。



「BONSAI」の拠点 大宮盆栽美術館

「BONSAI」は今や世界共通語。ここは盆栽文化を発信する世界で初めての公立美術館です。樹齢100年をこえる名品盆栽をはじめとして、季節ごとに变化する生きた芸術品を、落ち着いた雰囲気の中で鑑賞できます。



新発見 あれこれ

さいたま市
PRキャラクター
「つなが竜ヌウ」



まだあります「自慢したいもの、新発見あれこれ」。
バルなチャレンジも始まっています。

古くから浦和駅周辺には、老舗、名店が点在しています。毎年5月に行われる「浦和うなぎまつり」の会場では、味わうだけでなくうなぎのつかみ取りなどのイベントも行われます。



市民のスタミナ源 浦和のうなぎ

©STIB



©STIB

人形のまち 岩槻 B級グルメにも注目



歴史ある日本有数の人形のまち・岩槻。夏に行われる「岩槻まつり」に登場する、幅10m、高さ8mのジャンボ雛壇は圧巻。実際に雛装束を身に付けた15人が並びます。岩槻人形会館（仮称）の整備も計画中。



©STIB

「豆腐らーめん」と岩槻ねぎを自慢の塩だれで炒めた「岩槻ねぎの塩焼きそば」。本気のうまさ人気です。